

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者ふれあいの家支援事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	横山 友二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	おおむね65歳以上の家に閉じこもりがちな市民	意図	心身ともに健やかな生活が送れるようにする。
事業内容	民家等を利用して、閉じこもりがちな高齢者が他の高齢者や子供たちとのふれあいができる場所を提供する個人・団体等を支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成15年度に市内2か所で「高齢者ふれあいの家」を開設。平成20年から27年までの間に15か所増設し、現在17か所で開設している。平成22年度から開設費用の助成を開始した。平成24年度から家賃に対する助成を開始した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 年間開催総数	3,092	3,880	4,214	回	↑↑↑	
	② 市内設置場所	13	15	17	か所	↑↑↑	
	③ 年間利用者総数	39,689	51,042	57,144	人	↑↑↑	
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成27年度3か所を開設し、市内17か所において様々な活動を展開し、高齢者同士のふれあいの機会を提供している。前年度実績と比較すると延利用者数6,102名増（11%増）、全体開催回数334回増（8%増）ともに大幅な増加となっている。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,828,453	2,948,798	3,790,309			
事業費(b)(円)		2,688,713	2,810,598	3,639,709			
うち一般財源		2,688,713	2,810,598	434,618			
職員給与費(c)(円)		139,740	138,200	150,600			
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	自治会、NPO法人、市民団体等に働きかけ、高齢者ふれあいの家の開設に努める。	③取組の課題	高齢者が通える身近な場所に高齢者ふれあいの家を設置し、元気な高齢者を増やしていく事業を展開していく。
②今年度(H27)に実施した取組	新川小学校区、西深井小学校区及び八木北小学区にそれぞれ1か所、高齢者ふれあいの家が新規開設した。	④今後の改善計画	未設置の小学校区（流山北、南流山、八木南）や高齢化率が高い北部・東部地区を重点に開設に向け努めていく。